

- チーム医療の一員として院内で活躍する「救急救命士」のご紹介！
- 当院の教職員が知事表彰を受けました
- 診断書窓口の開設
- 「CAR-T細胞療法」を開始しました
- 「頭皮冷却療法」を開始しました
- 先進医療のご紹介
ー抗ネオセルフβ2グリコプロテインI 複合体抗体検査ー
- 眼科外来の拡大について

チーム医療の一員として院内で活躍する「救急救命士」のご紹介！

救急・集中治療部

当院救急・集中治療部では、一次から三次救急までの救急車搬入患者と時間外外来受診患者に対応し、24時間体制で初期診療から重症管理までを行っています。



救急救命士メンバー集合写真

当院の救急救命士とは

当院では、救急診療体制のさらなる充実を目的として、2023年4月に救急救命士を新たに採用する体制を整備し、現在、救急・集中治療部に5名が在籍し、病院内におけるチーム医療の一員として活躍しています。

救急救命士は、救急外来において24時間体制で、医師や看護師をはじめさまざまな医療スタッフと密接に連携しながら、搬送されてくるさまざまな疾患の救急患者さんが安心して診療を受けられる環境づくりに貢献しています。

業務内容 ～救急外来における役割と災害医療への貢献～



救急外来における業務内容は多岐にわたり、救急現場からのホットライン対応や搬送されてきた患者さんのバイタルサイン測定や処置の介助、また心肺停止などの重篤な患者さんに対しては、医師の指示のもと、法律に定められた救急救命処置における静脈路確保や薬剤の投与、気道確保を実施し、医師や看護師がそれぞれの職務に専念できる体制を構築しています。



救急救命処置

災害時には日本DMAT（災害派遣医療チーム）の業務調整員として、大規模災害や多数傷病者の発生した現場にも派遣され、医師や看護師の診療支援にあたります。

また、病院内における心肺蘇生の講習や研修医を対象とした二次救命処置研修にも講師として積極的に参加し、多職種の救命知識や技術の向上に貢献しています。



当院のDMAT隊員による訓練

「救急救命士」チームからのコメント

わたしたち、救急救命士は、患者さんやご家族の「最初の不安」に寄り添える存在でありたいと考えています。救急外来は、突然の病気や怪我で誰もが不安を感じる場所です。わたしたちは医療スタッフの一員として、迅速かつ確実に安全な医療を支えるとともに、患者さんやご家族の皆様にも少しでも安心をお届けできるように日々取り組んでいます。これからも、当院の医療を支えるチームの一員として研鑽を重ね、地域の皆様に信頼される医療の提供に貢献してまいります。

当院の教職員が知事表彰を受けました

精神科・放射線部

当院精神科の尾関教授が 「令和7年度 精神保健福祉事業功労者知事表彰」を受彰！



精神科 尾関教授

2026年2月8日、こころの健康フェスタ2025（滋賀県近江八幡市）において行われた精神保健福祉事業功労者知事表彰式において、当院精神科の尾関教授が、「令和7年度 精神保健福祉事業功労者知事表彰」を受けました。この表彰は、精神保健福祉事業の発展に寄与し、その功績が顕著である者について、知事はその努力と功績をたたえるものです。



尾関教授は、

- ・長年にわたる精神保健福祉実務への従事
 - ・人材育成・教育への長年の貢献
 - ・普及啓発・偏見解消への貢献
- などが評価され、表彰されました。

当院放射線部の吉村副診療放射線技師長が 「令和7年度 病院業務功労者知事表彰」を受彰！

2026年2月1日、令和7年度（第45回）滋賀県病院大会（滋賀県大津市）において行われた病院業務功労者知事表彰式において、当院放射線部の吉村副診療放射線技師長が、「令和7年度 病院業務功労者知事表彰」を受けました。この表彰は、永年にわたり県内の病院に勤務し、その功労が多めで他の模範として特に推奨すべき者について、知事はその努力と功績をたたえるものです。



吉村副診療放射線技師長は、

- ・30年以上にわたり、当院で勤務し、副技師長として医療安全に貢献
 - ・MR部門統括、研究・治験協力、管理・教育を推進
 - ・長年にわたり、滋賀県診療放射線技師会の要職を務め、がん診療連携協議会委員としても地域医療に貢献
- などが評価され、表彰されました。



放射線部 吉村副診療放射線技師長

診断書窓口の開設

医事課

当院では、2025年10月から、総合受付（病院1階）に「③診断書等受付」窓口を開設しました。各種証明書や診断書が必要な方は、診断書等受付窓口にお申し出ください。

1F



☎ 電話でのお問い合わせについて

受付曜日：月曜日～金曜日（休日は除く）
受付時間：午前9時～午後4時
電話番号：077-548-3335

診断書の郵送をご希望の方は、相談に応じますのでご連絡ください。その他ご不明な点がございましたら、お気軽に病院職員にお尋ねください。



「CAR-T細胞療法」を開始しました

血液内科

当院血液内科では、悪性リンパ腫への治療法として、「CAR-T(カーティー)細胞療法」を開始しました。現在、滋賀県内では、当院のみが実施可能施設となっています。2024年8月に「イエスカルタ[®]」、2025年10月には「ブレヤンジ[®]」の治療提供施設としての認定を受け、これら2種類の再生医療等製品による実施体制を整えています。

悪性リンパ腫とは

悪性リンパ腫は、白血球の一種である「リンパ球」ががん化し、リンパ節や全身の臓器で増殖する「血液のがん」です。初期症状では、首・脇の下・足の付け根などに痛みがない腫れが見られ、進行により、発熱・体重減少・寝汗を伴うこともあります。臓器に発生した場合は、その発生した場所に応じたさまざまな症状が現れます。



CAR-T(カーティー)細胞療法について

CAR-T(カーティー)細胞療法は、2019年に保険適用となった比較的新しい治療法で、悪性リンパ腫などの治療に高い効果が期待されています。この治療では、患者さんの血液から採取した「T細胞」に、遺伝子医療の技術を用いて「CAR」という特殊なたんぱく質を作れるよう、改変を加えます。こうして作成した「CAR-T細胞」を患者さんの体内に戻すと、増殖しながら、がん細胞を強力に攻撃し、やっつけてくれます。



本治療を希望される方は、まずは主治医までご相談ください。

「頭皮冷却療法」を開始しました

腫瘍センター

抗がん剤治療に伴う脱毛は、多くの患者さんにとって大きな不安の一つです。

当院の腫瘍センターでは、この脱毛を予防し、さらに治療後の早期発毛や髪質の改善を目指す「頭皮冷却療法」を開始しました。

頭皮冷却療法とは

専用の冷却装置とキャップを用いて頭皮を冷やす治療法です。

冷却により、

- ✓ 頭皮の血管を収縮させ、毛根に届く抗がん剤の量を減らします
 - ✓ 毛母細胞の活動を一時的に抑え、ダメージを軽減します
- これらの作用により、**脱毛を抑える**ことが報告されています。

さらに、**治療後の発毛が早く、髪質の回復が良好**になることも期待されています。



なぜ脱毛が起こるの？

抗がん剤は、活発に増殖する「がん細胞」を攻撃する治療です。

しかし、髪をつくる「毛母細胞」も増殖が活発な細胞であるため、抗がん剤が毛母細胞も攻撃してしまいます。その結果、髪を支える組織がダメージを受け脱毛が起こります。

頭皮冷却療法は、この毛母細胞へのダメージを物理的に軽減する唯一の方法として、**国内外のガイドラインにも記載**されています。

本療法は2019年3月に厚生労働省の薬事承認を受け、現在多くの施設で導入されています(保険外診療)。

本療法の詳細については、主治医または腫瘍センターにお尋ねください。



